

キッピッピ

三田市立図書館



2026 年

ほん



9月



あたらしい本がはいったよ

にゃんこかぞくおふろのじかん

KORIRI／作 教育画劇 2026年6月 Eコリ

にゃんこかぞくはとってもなかよし。おとうニャンが「そろそろおふろのじかんだにゃ」というと、まだあそび足りたないちゃちゃぼうはだだをこねます。すると、ちゃこおねえニャンが「おふろにライオンさんがいるかもにゃ」とやさしく声をかけました。かぞくとのおもしろいおふろじかんのはじまりです。



のんびり のんきな ようかい絵本 ねこまたさんと ぬりかべさん

富安 陽子／文 おくはら ゆめ／絵
童心社 2026年6月 Eオク

あたま うえ 頭の上にねこまたさんをのせてさんぽに出かけるぬりかべさん。道のむこうから犬をつれたおじさんが歩いてきました。びっくりさせないようにかべのふりをすると、犬がぬりかべさんにおしっこをひっかけます。「キャーッ！」とさけび、かなしそうなぬりかべさんをねこまたさんがはげまします。ほのぼのしたようかい絵本です。

《本館》 ^{そら}空をみあげようあした 明日は、どんな天気？ ^{てんき}空をみあげたくなる本を集めました。

きょうのそらはどんなそら

ふくだ としお+あきこ(accototo)/文・絵

大日本図書 2009年9月 Eフク

どこまでも ^{あお}青い空、 ^{そら}今にも雨 ^{あめ}がふってき ^{そら}そうな空、 ^{よそら}夜空。ページをめくるたび ^{そら}いろいろな空 ^{ひろ}が広がります。1日 ^{いち}の空 ^{そら}のうつりかわりが ^{えほん}えがかれた絵本です。

《ウディタウン分館》 ^{きょう}今日からきみももののしりはかせ！これってどうやって ^{つく}作っているの？ ^しみんなが知りたくなるような本 ^{ほん}をたくさん ^{あつ}集めました。

こだいのなぞとふしぎのずかん

五十嵐 美和子/著者 東京国立博物館/監修

白泉社 2025年7月 Eイガ

ピラミッド、スフィンクス、ナスカの ^{ちじょうえ}地上絵、 ^{むかし}昔 ^{ひと}の人たちは、 ^{どうぐ}きかいや道具 ^{つか}を使わないで ^{もの}いろいろな物 ^{つく}を作りました。この ^え絵 ^{ほん}本では、 ^{ほん}たくさんの ^{かい}いせきを ^せしょうかい ^{こだい}しています。古代 ^せの ^{かい}世界の ^{かい}なぞをさがしましょう。



《藍分室》 おやすみなさいをいうまえに

みんながおふとん ^{なか}の中 ^{はい}に入 ^{よる}る ^{じかん}ころには、夜 ^{はじ}の時間 ^{つき}が始 ^{ほし}ま ^{はなし}っています。月 ^{よる}や星 ^{せかい}、しずかな ^{よる}夜の ^{はなし}世界 ^{あつ}のお話 ^{あつ}と、読む ^{あつ}となんだか ^{あつ}ぐっすり ^{あつ}ねむれ ^{あつ}そう ^{あつ}な ^{あつ}お話を ^{あつ}集 ^{あつ}めました。

おやすみれっしゃ しゅっぱつしんこう！

ルイズ・フィッツジェラルド/さく

マルガリータ・クフティナ/え 服部 理佳/やく

岩崎書店 2026年2月 Eクフ

こぐまちゃんやライオンくん、 ^{どうぶつ}動物 ^{どうぶつ}の ^{どうぶつ}こども ^{どうぶつ}たち ^{どうぶつ}を ^{どうぶつ}の ^{どうぶつ}せて、おやすみ ^{どうぶつ}れ ^{どうぶつ}っしゃ ^{どうぶつ}が ^{どうぶつ}は ^{どうぶつ}っしゃ ^{どうぶつ}します。まず、 ^{どうぶつ}むかう ^{どうぶつ}のは ^{どうぶつ}パ ^{どうぶつ}ジャ ^{どうぶつ}マ ^{どうぶつ}む ^{どうぶつ}ら ^{どうぶつ}え ^{どうぶつ}き ^{どうぶつ}です。 ^{どうぶつ}みんな ^{どうぶつ}す ^{どうぶつ}て ^{どうぶつ}き ^{どうぶつ}な ^{どうぶつ}も ^{どうぶつ}よう ^{どうぶつ}の ^{どうぶつ}パ ^{どうぶつ}ジャ ^{どうぶつ}マ ^{どうぶつ}に ^{どうぶつ}き ^{どうぶつ}が ^{どうぶつ}え ^{どうぶつ}まし ^{どうぶつ}た。 ^{どうぶつ}つぎ ^{どうぶつ}は ^{どうぶつ}ど ^{どうぶつ}んな ^{どうぶつ}え ^{どうぶつ}き ^{どうぶつ}に ^{どうぶつ}い ^{どうぶつ}く ^{どうぶつ}の ^{どうぶつ}か ^{どうぶつ}な。





ほん みつけたよ！こんな本



こ いちばん あの子が一番

朝比奈 あすか／著者 石山 さやか／画家

福音館書店 2026 年 4 月 N アサ



3年生までは、勉強も運動も出席番号だってクラスで一番だったのに、もうそうじゃない。転校してきたあの子にわたしはまるでかなわない。相手を追い落としたいという気持ちをきっかけに、クラスメイトや家族とのかかわりが大きく変わっていく小学生のお話です。

しぜんかんさつき ぼくの自然観察記 ドングリのたんけん

おくやま ひさし／著者 少年写真新聞社 2024 年 6 月 65/24



秋に公園を歩くと、大きな木の下によくドングリが落ちています。細長い形やまんまるの形、小さなぼうしにもじゃもじゃのぼうし。いろいろなドングリをひろって、かんさつしたり育ててみたり、この本といっしょにドングリの世界をたんけんしてみましょう。

と しょかんいん き い 図書館員のお気に入り♪ 「うちゅういちの たかいたかい」



ホッシー ナッキー／作 中央公論新社 2024 年 4 月 E ホツ



男の子はパパの「たかいたかい」が大すき。もっとたかくしようとパパはうでをきたえはじめます。おもい岩をひっぱったり、ダンベルをもちあげたりして、きんにくもりもりになったパパ。たかいたかいは、どんどんエスカレートしていき……!?ワクワクドキドキがとまらない、親子のきずなをえがいたユーモアあふれる絵本です。

こんげつ かみ 今月の紙しばい

しゅつどう！ はしごしゃノビールくん

ミノオカ・リョウスケ／脚本・絵
童心社 2013年9月 Kシ



はしごしゃノビールくんは、^{おお}大きなからだにながーいはしごがじまんのしょうぼうじどうしゃです。^{たか}高いところはぼくにおまかせ！はしごをグーンとのぼして^ひ火を^け消します。ところが、^ひ火が^{きゅう}急に大きくなり、にげおくれた^{ひと}人のところまで行けなくなりました。その^{とき}時、ノビールくんのなかまがやってきます。

なるほど！

たべものまめちしき



^{なつ}夏から^{あき}秋にしゅうかくされる、あまくてジューシーな^{きげんぜん}ブドウ。紀元前³⁰⁰⁰年ごろには、メソポタミア^{ちほう}地方でさいばいが^{はじ}始まりました。

ブドウは^{あめ}雨やじめじめした^{くうき}空気が^{だい}大きらいなので、^{あめ}雨が^{すく}少なく、^{たいよう}太陽の^{ひかり}光が^{つよ}強くかんそうしている^{ちゅうおう}中央アジアで^{つく}作られています。^{せいしょくよう}生食用や^{よう}ワイン用、^{よう}ほしぶどう用も^あ合わせて^{しゅいじょう}8000種以上の^{ひんしゅ}品種があります。

こんげつ
今月は
「ブドウ」
だよ！



ブドウにはミネラルやビタミン、^{しょくもつ}食物せんい、ポリフェノールなどがふくまれている、えいようまんてんです。ひやして^た食べるとよりおいしくなりますよ。

参考文献 『そだてて あそぼう[45] ブドウの^{えほん}絵本』

高橋 国昭／編 沢田 としき／絵 農山漁村文化協会 2002年3月 62/02